

ポジションにはどんな種類があるの？

バスケットボールはコートがせまく、プレーヤーが縦横無尽にコートを動き回るので、野球のように明確なポジションというものはありません。

しかし、便宜上はある程度のポジションというものが存在しますので、以下にポジション名とその役割などを記します。

ポイントガード (PG / 1番)

攻める時にボールをドリブルで運んだりする役割の人を指します。このポジションの人には、ドリブルの巧さや敏捷性(すばやさ)が求められます。この資質を持ったプレーヤーは小柄な人が多いため、小柄な選手がこのポジションを務めることが多いです。

シューティングガード (SG / 2番)

ポイントガードと同様にドリブルの巧さやスピードが求められます。攻める際にバスケットから比較的離れたところでプレーすることが多いため、ジャンプシュートの正確さも求められます。3ポイントシューターなどの多いポジションです。

スモールフォワード (SF / 3番)

シューティングガードとほぼ同じ役割を担いますが、よりパワーとスピードが求められます。総合的な運動能力の高さと高い得点能力が求められます。

パワーフォワード (PF / 4番)

比較的バスケットに近い位置でのプレーを担当します。ドリブルの巧さやスピードより、リバウンドなど、バスケット下でのボールの争奪戦に勝てるような、ジャンプ力や屈強な肉体が要求されます。

センター (C / 5番)

バスケットに最も近い位置でプレーするポジションです。バスケット下ではリバウンドの奪い合いなど、激しい体の接触が多くあるので、屈強な肉体が必要です。その為、コート上のプレーヤーの中で最も体の大きいプレーヤーが担当することが多いです。

上記ポジションとその役割は、「このポジションはこうあるべき」というものではなく、「このポジションには比較的このようなプレーヤーが多い」といったことを記しています。チーム/プレーヤーの構成上、上記ケース外の場合も多々あります。

